

から、大人が子どものことを考えてくれたなんてとてもうれしい。」内容への感想より条約の存在を知ったことへの感想も多くみられます。もっと、子どもにも大人にも「子どもの権利条約」を知ってほしいし、正しい理解を広めていかなければなりません。

## 子どもたちの現状

「遊びをせんとや生まれけん」という言葉がありますが、「遊び」を通して体験することは、子どもが成長する上でとても重要だといわれています。しかし、自然破壊、生産と生活の分離、交通事情の悪化、地域の崩壊など、生活環境の変化により、「遊び」に必要な「3つの間（空間・時間・仲間）」がなくなっているといわれます。

今の子どもたちは、塾やお稽古ごとなどで忙しく、時間を気にしながらテレビゲームで遊ぶなど、明らかに「遊びが足りない」といわれています。その結果、子どもたちの体に異常が起きていることが、問題となっています。

### 肉体的異常

・ 胸郭異常、扁平足、脊椎側湾症、小児成人病、自律神経失調症、骨折、低体温症・アトピーの増加や皮膚の異常、体力・運動能力の低下

外遊びをして日光を浴びたり汗をかくことが少なく、何よりも一番の原因は運動不足にあるようです。大人の便利さに合わせ、幼児期から楽をしている結果ともいえます。

### 精神的不健康

自殺者が出るほど深刻化しているいじめ問題、校内暴力、不登校児童・生徒の増加など学歴社会が与えるストレスや人間関係がうまく保てない子どもたちの「心の病」は、家庭でも学校でも社会全体で真剣に考えなければならぬ問題になっています。以上のような環境の中で、私たち大人ができることは、一人ひとりを尊重しながら子どもたちの成長に必要なものを整えていくことではないでしょうか。

## 子どもにやさしい街づくりのための要望

ワーキングで子どもたちを取り巻く環境の中から、年齢別に問題点や改善されたいことを洗い出しました。その内容を市役所ロビー、保健センター、児童館、市民サークルの集まりの場で掲示。市民の意見もとりいれました。

### ◎就学前（0―6歳）

・ 母乳育児の推進を  
・ いつでも預けられる保育園を  
・ 保育時間の延長を

・ どんな障害のある子ども地域の園に通えるよう施設・人の充実を  
・ 祖父母がいても保育園に入れて  
・ 市立の幼稚園を  
・ 保育園のおやつは手作りで  
・ 全園に延長保育を  
・ 保育園に養護の先生を

### ◎就学前&小学生

・ 学校区と園区の見直しを  
・ 保育園、小学校に温水シャワーを

### ◎小学生（7―12歳）

・ アトピーの子どもにも安心して入れるプールを作って  
・ 通学団―異年齢集団の復活を  
・ 交通指導員を増やして  
・ 暗くなる前に下校できるように

### ◎小学生&中学生

・ 子どもとお年寄りの交流を  
・ 学校に専門のカウンセラーを  
・ 学校養護教諭の2人体制を  
・ 週休2日制の土曜日は部活なしに  
・ 部活の強制はしない  
・ 市内に養護学校が欲しい  
・ 学校図書館に司書を

### ◎中学生（13―18歳）

・ 中高生の憩いの場を  
・ 高校生が気軽に集まれる施設、軽スポーツ室、談話室など  
・ 部活が本来に必要なか  
・ 中学生の部活の活動時間を自由に

### ◎就学前&小学生&中学生

・ 子ども会議を開いて

・ 子ども人権オンブズマンの設置  
・ プールの塩素濃度の管理を  
・ 制服・バックの自由化  
・ 水道水は飲んでも安全に  
・ アトピー、アレルギーの対策を

### ◎施設

#### || 児童館 ||

・ 全小学校区に児童館を  
・ 児童館に保健婦の派遣を

・ 中学生も利用できるような設備に  
・ 子どもの遊び道具と職員とのコミニケーションの充実を

・ 親子クラブの定員の改善を  
・ 若い指導員、男性指導員を

#### || 勤労青少年ホーム ||

・ オープンカウンターにして  
・ 時間の延長を  
・ 若者が行きたくなるような施設に

・ 昼間の活用法の検討を  
・ 場所が不便

#### || 新市民病院 ||

・ 授乳室やトイレにオムツを換える  
・ ベビーベットを  
・ 生命にかかわる病院、給食には充分な予算を

#### || その他 ||

・ 放課後、自由に遊べる公園を  
・ 図書館の図書の実を  
・ 見て触って楽しめる子ども博物館を

・ トイレ内に子どもを座らせるイスを  
・ 自転車やベビーカーの通りやすい道を

・ わかりやすい案内、使いやすい施設を